



むらさん

第16号

発行者

山形県立村山産業高等学校
PTA広報委員会

印刷

中央印刷(株)村山支店
TEL 0237(55)3700



ドローン競技会



プロジェクト発表県大会



マーケティング販売実習



やまがた高校生ロボットコンテスト



生徒会選挙立会演説会



村産祭

今年度は昨年にも増して本校生徒の様々な活動が新聞紙面やテレビを賑わせ、高い評価を得ることができました。二年前本校に赴任した際、三つの大学科が切磋琢磨し、時には連携・協力を図りながら、地域課題に取り組み素晴らしい教育が実践されていることを実感しましたが、その外部への発信は決して十分とは言えないと感じました。

さっそく先生方に協力を仰ぎ、新聞・テレビ・ラジオに積極的に働きかけるとともに、

「村産だより」の発行と中学校への配布、本校ツイッターの充実等、できることからを合言葉に情報発信に努めてまいりました。その結果は徐々に表れ多方面から大きな反響があり、それが生徒諸君の自信と誇りにもつながったように感じます。

PTAの皆様には本校生徒の一番のサポーターとして、本校の素晴らしい教育実践を口コミ等で地域に広げていただければ幸いです。



校長 青柳 晴雄

「積極発信！本校の学び」

今年度は、PTA会長の金子です。常日頃よりPTAの活動にご理解とご協力を賜り、保護者の皆様、先生方に大変感謝申し上げます。今年度も二ヶ月を残すばかりとなりました。コロナ禍で、なかなか思うような活動や行事ができず、創意工夫をこらしながら学校生活もPTA活動も進んできたと思います。役員として、親として、子どもたちと同じく、学ぶ機会を大事にし

ています。今年度は三回程オンラインでの研修を受け、思う事多々ありました。「今の幸せに気づくことから夢はひろがる」「当たり前前にいてくれる子どもたちや大切な人たちと一緒に命を喜ばせたい」腰塚勇人先生の命の授業という講演の言葉です。子どもたちや先生方には充実した学校生活を毎日できる様、私たちは共感と感謝を忘れず皆様と一緒に活動をしていきます。



日々思う

PTA会長 金子 一志



PTA副会長 柴崎 雅典

皆様にとつて今年度はどんな一年だったでしょうか。

昨年に引き続き様々な自粛や制限の中、新しい生活様式が広がりを見せた年だったのではないのでしょうか。

子どもたちの高校生活は先生方のご配慮のもと、通常の授業を始めとして、村産祭などの行事を制限付きではあったものの開催していただいたことで、昨年よりも充実感を持てた年だったと思います。

私は、今この時しかない高校生活、五感（視・聴・嗅・味・触）をフルに使い今しか感じる事ができない貴重な経験を一つでも多く体験してほしいと願う一年でした。

来年度は、子どもたちが今日より明日、未来を前向きにとらえられる年になることを切に願っています。

PTA副会長 齋藤 淳哉

「感謝」

今年も昨年に引きつづき、コロナ禍の中で、私たちは様々な制約を受けながら日々生活、活動してまいりました。

しかし、このような生活の中でも、生徒たちの活躍が度々新聞やテレビ等に取り上げられた事は、OBの一人として誇れるものであり、生徒たちの自信にもつながるものと思っております。まさしく、今年一年、「村産魂」をまざまざと見せていただきました。また、先日、花ひかり上槽完了報告会に参加した際、農工商と企業との一体となった活動に驚き、今後も生徒や地域の活性化につながるようPTAとしても協力していきたいと思つたところです。



研修委員長 木内 武信

山形県ホーラム、講師、増田貴久氏より、ネットルールづくり、将来の依存症を予防する、「演題」オンライン（Zoom）参加となる。

学校教育の現場も様々な制約を強いられる、新型コロナウイルス、そのような現況の中、各種大会をこなし、中でも、部活の山岳部、歴史と伝統を感じる活躍でありました。先生方の影なる努力に感謝し、生徒たちの成長に、目を丸くする親の一人となりました。

広報委員長 柴田 吉信

日頃よりPTA活動に対し、ご協力いただき、ありがとうございます。

昨年度から続いている新型コロナウイルスにより、イベントや行事の縮小によって、楽しみにしていた文化祭も、親は参加できずに終わってしまいました。来年こそは、子どもたちの活動する姿を見る機会が増えてくれることを期待します。一年間広報委員会を支えて頂いた保護者のみなさん、先生方、ありがとうございます。

生活委員長 青藤 佳幸

本年度もコロナ禍の影響を受け、PTA活動が制限され生活委員会が主体で行う事業も村産祭が一般非公開での開催となった事で「餅つき・餅販売」や「登校時のマナーアップ挨拶運動」が中止となりました。保護者として子どもたちと身近に接する事ができる貴重な機会だっただけに残念ですが仕方ありません。

子どもたちにはこの苦難を乗り越え更に大きく成長してほしいと願うばかりです。最後に委員の皆様には一年間ご協力を賜り感謝申し上げます。

三学年委員長 阿部 太彦

希望進路を得、課題研究の仕上げに取り組む三年生に覚えていて欲しい事がある。思いはこれから、皆さんに向けられていることを。

先生の思い、親の、家族の、友の思い。心で寄り添うことしかできなかったコロナ禍の二年間。たくさんの思いの上に立って、それぞれよく頑張った。その思い、今度は社会に広げよう。

一・二学年員長 秋葉 良二

振り返れば、またコロナに翻弄された一年でした。そんな中でも生徒の皆さんは今できる事を最大限模索しながら窮屈ながらも学校生活を送れたのではないかと感じております。保護者の方々においては、学校生活や進路など心配な事が多いと思います。私も含めネガティブな事ばかり考えがちになりますが、この経験が子どもたちの将来で必ず役に立つと信じ、ポジティブに今と向き合って行ければと思います。

一学年委員長 笠原 秀一

コロナが長引き、学校生活では、生徒たちの繋がりが希薄になっていると思つていました。

しかし、子どもが部活の用具を揃える際に、先輩がわざわざ山形の店まで来てくれてアドバイスしてくれました。感謝するとともに生徒たちの繋がりに感動しました。

先生方も様々なイベントを企画され、子どもがクラスマッチやドローン競技会の話を楽しそうに話してくれます。

生徒会活動報告

前期生徒会役員

会長	3年1組	安達 悠人
副会長	3年2組	柴田 梨奈
副会長	2年4組	土屋 昌大
議長	3年2組	佐藤 幸亮
副議長	2年5組	山方姫華瑠

後期生徒会役員

会長	2年4組	土屋 昌大
副会長	2年4組	菊地 湧登
副会長	1年2組	青山 恵澄
議長	2年5組	山方姫華瑠
副議長	1年2組	菅野 一星

前期生徒会長 安達 悠人

我々生徒会は、「コロナだからできること」「どうやったらできるのか」を模索しながら、より良い学校、より良い学校生活を目指して活動してきました。

前期は、クラスマッチ、村産祭がありました。中でも村産祭では、工夫を凝らしたり新しい企画を導入することによって、コロナだからできることを見つけたし、過去になかった新しい村産祭をつくりあげることができました。一年間旧生徒会へのご協力ありがとうございました。

後期生徒会長 土屋 昌大

生徒会活動については、十二月に、「農・工・商」学科対抗ドローン競技大会が行われました。新聞やテレビなどでも報道され、村山産業高校の活動を地域に発信できた行事になったと思います。また、新生徒会では、季節毎に行事やイベントを企画して実行して行こうと思いました。これから、この学校をより良い学校にしていくとともに、コロナ禍でも活発に活動をしていくので、ご協力をよろしくお願いします。



飛躍 ～農・工・商～

三年一組 増川 創太

農業経営科は、各学年一つの果樹を担当してきました。基本的な栽培技術が身についた中、今年度はリンゴの栽培管理を行いました。一、二年の時と比べ、リンゴは栽培過程が多く、時間が限られた中で、終えることができた中で、終えることができたか不安でしたが、合間の時間を縫って終え、完成したリンゴの味に私は感動しました。農業は他者から見て、地道な作業と思われがちですが、苦労して作り上げた作物を、多くの人に喜んでもらえるのが魅力の一つだと思います。



三年二組 和久井大介

農業環境科では、一年生において、トマト栽培などを通して、農業について広く学ぶ授業や実習を行います。また、二年生では、全員が共通で造園などについて学びます。二・三年生の専門科目については二つのコースに分かれて学習を進めます。緑地保全コースでは、実習林で、刈払い機やチェーンソーを使った森林管理を学びます。そして、林産物利用では、伐採した木材を使用した木材加工やキノコ



の栽培を行っています。緑化技術コースでは、パンジーやチューリップなどの花壇苗や草花の栽培について学んだり、植物を乾燥させて装飾に使うドライフラワーやハーバリウムなどを制作する授業を行います。

三年三組 青野 利久

この一年間を改めて振り返ると、たくさんのお出来事がありました。特に三年生は、通常の学校生活に加えて進路活動もあり大変だったと思います。その中でも三年生を中心とした各種資格試験に向けた取り組みは活発であり、合格率が上昇したことは印象的です。危険物乙種全類合格、ジュニアマイスター特別表彰者の出たことはすばらしいです。後輩の皆さんも資格取得に向けてチャレンジしてください。



三年四組 木内 拓哉

私は十二月二十八日から東京都で行われた第五十九回技能五輪全国大会（ウェブデザイン職種）に出場してきました。この大会は、全国からウェブサイトの制作に精通したスペシャリストが多く出場しており、競技中はプレッシャーを感じながらも、できる限りのことを行いました。

結果としてはあまり良い成績は残せませんでした。全国レベルの技術を知る良い機会になったと思います。この大会に出場できたのもサポートしてくださった先生方や共に研究を進めてきた仲間のおかげです。これからは大会や研究で身につけた技術や事前準備する力を協力して物事に取り組みむ力を大学での学びや研究に活かしていきたいと思っています。



三年五組 笹原 芽衣

私たち流通ビジネス科では普段の授業はもちろん販売実習や商品開発など、様々な活動を経て成長することができました。特に課題研究では複数のグループに分れ、村山市の課題を探り、企画や改善策を提案するという共通の目的を持って活動できたため大変よかったと思う。また、この一年間を通して、クラスの仲が更に深まったと感じている。私たちはこれからも努力と友情を忘れずに成長を続けていくだろう。卒業まで残り少ない日々を大切に一日一日過ごしていきたい。いつも元気いっぱい笑顔あふれる流通ビジネス科に幸あれ。



三年間の思い出

三年一組 齋藤 宥

この三年間はとても実りのある三年間でした。入学したのが昨日のこのようです。一年の頃には、工藤先生を

いじる毎日でした。クラスマッチ最下位という記録を残し、クラスCMでは校内三位でした。

二年では、コロナで行事がなくなっていました。一年の頃よりもクラス全員の仲が更によくなった一年でした。

三年では、就職や進学で大変でした。とても大変でした。課題研究もあり、一番忙しい一年でした。



このクラスみんなと出会えてとても幸せです。最高の思い出をありがとうみんな!!

三年二組 和久井 大介

この学校で三年間を過ごし、沢山の思い出を作ることができました。一年生では高校生

で初めてのクラスマッチや文化祭、学年でのちよつとした旅行などを体験しました。

そして二年生では、新型コロナウイルスの影響でほとんど何もできませんでした。クラスマッチや文化祭、修学旅行などもコロナの影響で行けませんでした。三年生では新型コロナウイルスが少し落ち着いておかげで二年生にできなかったことが少しだけできるようになりました。

三年生になって一番心配した進学や就職への影響はあまりなく、無事に全員が進学と就職先に就くことができました。

三年三組 石川 駿吾

三年間の高校生活の中で、私はたくさんの思い出があります。高校生活の始まりである入学式、クラス一丸となり勝利を掴むクラスマッチ、年に一度の無礼講である文化祭とあげればきりがありませんが、私にとって一番の思い出は何気ない日々の学校生活です。

クラスの奴らと授業を受けて、飯食って、他愛もない話を

をして、馬鹿やつて、笑う。そんな普段の日常が何よりも好きでした。コロナという未曾有の事態が起きて、形を変えてあり続けた日常がどんな事よりも幸せです。

誰に聞かれても私はこう答えます。「一番の思い出は何気ない日常です。」と……。



三年四組 木内 拓哉

入学時、あれだけ長そうに思った三年間も、過ぎてみると短かったと感じます。クラスマッチや村産祭では、二十人という少ない人数ながらも協力し合うことで他クラスに負けじと盛り上がる事ができました。三年生の時には、就職試験や受験の対策で多くの先生方にお世話になり、熱心なご指導のおかげで全員の進路が無事に確定しました。指導してくださった先生方にとて

も感謝しています。さて、残る学校生活もあと僅かになりました。この三年間で出会えた最高の仲間たちに、ありがとう。それぞれ歩む進路は違いますが、また出会うことができますように。

三年五組 笹原 愛唯

村山産業高校に入学して、早くも三年が経とうとしています。思い返すと部活動やクラスマッチ、村産祭、学年旅行など多くの行事がありました。残念ながら修学旅行は無くなりましたが、その他の行事が開催されて嬉しかったです。学校行事の他に、五組で過ごした何気ない日常も私にとって良い思い出です。友達と変なことや笑ったことや、けんかしたこと、何かに悩むことも、当時は辛くても今ではそんなこともあったねと笑い合えるような日々を過ごせて良かったです。そして、担任が沼ちゃんだからこそ楽しく過ごせたんだと思います。みんな、三年間ありがとうございました。

三年間ありがとうございました。

三年間ありがとうございました。

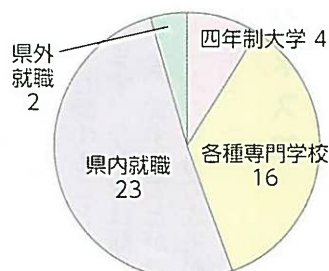


進路状況

商業科



工業科



農業科



部活動紹介【文化部編】**家庭部**

家庭部は、二年生五人、一年生十人の計十五人で活動しています。主な活動内容は、調理・被服の資格取得や文化祭に向けての製作に取り組んでいます。また今年度から野菜の栽培を始めて、自ら作った野菜で調理をするなど活動の幅を広げることができました。来年度は、資格取得に更に力を入れて頑張ります。

又新連部

又新連部は、昨年全国大会に出場しました。昨年度も徳内まつりが中止され、三年生と演舞する最後のステージになり、最高の演舞を披露することができました。今年度から、部員数が減少し、日々思うような練習ができないことや一人で二役を抱えていることが現状です。又新連部は多くの方から期待されています。その期待に応えることができるよう、外部でのイベントや地元へ貢献できるように精進していきます。

農業技術部

私達の部活では、主に野菜を作ったり、作ったものを加工、販売したりしています。春から秋まで、夏野菜、冬は加工をするために、はく菜やカブを作っています。はく菜はキムチに、カブは千枚漬けにしています。他にも、ウシやヒツジなどの世話をしています。つらい仕事などはありませんが、自分が作った物を食べたり、売れる事でやりがいを感じる事ができる楽しい部活です。

農業科学部

私たちのチームでは、サトイモや植物共生微生物などを研究テーマとして、日々の活動を実施しています。今年もコロナ禍であり、研究発表などで中々、県外に行くことはできませんでした。しかし、様々なオンライン大会に参加し、日ごろの研究成果を発表し、さらにレベルアップできるようにアドバイスを受けています。来年度は、外部に出て、様々な活動ができることを願っています。

吹奏楽部

吹奏楽部は女子五名で、日

茶道部

茶道部は講師の先生方のご指導の下、稽古に取り組んでいます。今年度も様々な茶会が中止となっていました。また、茶道の基本的な所作や礼儀作法を身につけることができました。おもてなしの心と感謝の気持ちを大切に活動に励んでいきたいと思っています。

書道部

書道部では、自分に合った書体を見つけて、書き方を先生に学び良い作品を書くために日々練習をしています。書道が苦手な方でも大歓迎です。毎日部活に行ってしっかりと練習すれば絶対に上手になります。何かわからない事があつたら資料を見たり、先生に聞いてください。

機械探究部

機械探究部では、「やまがた高校生ロボットコンテスト」をメインとして活動しています。今年度は、昨年の悔しさをバネに優勝することができました。また、足踏み式消毒スタンドを製作、発表し「SDGs探究AWARDS2020」で、最優秀賞（全国一位）を受賞しました。その他にも、ものづくりフェスタで消毒スタンドの製作動画を公開したり、「ホビー大賞」では奨励賞を受賞、「自動車技術独創アイデアコンテスト」では佳作に選ばれました。

電子情報技術部

私たち電子情報技術部は、レゴブロックを使ってロボットを製作するEV3班、マイコンを搭載した車をプログラミングして速さを競うマイコンカー班、コンピュータを使って立体図形を設計し印刷する3DCAD班で構成されています。各班が大会に出場し上位入賞するために日々活動しています。また、地域の小学生を対象としたミニマイコンカー講習会の補助ランティアや資格取得のための学習に取り組んでいます。

美術部

美術部は、「日々精進」という目標をにかけて活動に取り組んできました。少人数のため団結力が強く、仲がよいので、油彩画などの作品制作の時には顧問の先生も含めてアドバイスをし合い全員で少しずつながらも高みを目指しています。高総文祭や村産祭の展示に向けて出品しています。また、毎日時間を大切に、余裕を持って行動することを心掛けています。今年度は部員全員が賞を受賞することができ、一人一人の努力の成果が出せた一年でした。

ビジネス部

ビジネス部は、情報処理班と商業研究班の二班体制で活動に取り組む、情報処理班は県高等学校ワーク競技大会において団体三位に入賞、初の東北大会出場権を獲得しました。また商業研究班は、SDGsを研究の主眼に発表を行い、五年連続東北大会出場権を獲得、入賞することができました。来年度も上位大会入賞、地域活性化を目指した研究活動に取り組めます。

収束傾向に向かうと思われた
ウィルスの脅威も、形態を変え
て更なる試練を私たちに与え
てくるなか、村山産業高校の生徒
はもちろん、教員、保護者、そ
の他関連者全員が立ち向かって
いる力強さが「むらさん」に表
れていると感じます。制作にご
協力頂いた皆様に感謝を申し上
げます。